

事業所における自己評価結果（公表）

事業所全体で行った自己評価です

配付数38 回収38 100パーセント

公表：令和6年4月

事業所名 茨木市立児童発達支援センターあけぼの学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備等	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	34	4	スペースを広げることは難しいですが、限られたスペースを有効に活用するため、活動に応じた物の配置等を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	30	8	国の配置基準以上に職員を配置しております。活動内容によって、全クラスに関わる職員とクラス担任とが連携しながら安全かつ有効に展開していけるように取り組んでいきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	10	物の配置や視覚支援等を行いながらお子様にとってわかりやすい環境づくりに努めていますが、よりわかりやすい環境づくりを目指して、研修に努めてまいります。建物内に段差等がある場所につきましては、計画を立てながら改善に努めてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	33	5	建物の老朽化はありますが、今後もお子様やご家族に気持ちよく利用してもらえよう清掃等に励んでまいります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	35	3	各種年間計画等を作成し、全職員で共有し、年度末には評価を行い、次年度の改善につなげています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	38		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	35	3	毎年年度初めにホームページで公開しています。今度も事業所評価の結果を受け止めより良い事業所運営に努めてまいります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29	9	第三者評価は受けておりませんが、大阪府発達支援拠点障がい児通所支援事業者等育成事業の活用や講師を招いての研修等でアドバイスを受けながら取り組んでまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	38		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	38		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	36	2	標準化されたアセスメントツール導入に向けて検討してまいります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	38		

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	37	1	バス添乗業務などにより検討会議が不十分な場合もあるが、できる限り会議を行い、立案するようにしています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	36	2	お子様の興味関心を広げられるよう、工夫しながらプログラムを作成しております。今後も研修等を行いながら、雄子様に合わせてプログラムを提供できるよう努めてまいります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	37	1	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	35	3	バス添乗業務や各系の業務などにより打ち合わせが不十分な場合もあるが、活動プログラムの立案同様、できる限り打ち合わせを行うように努めています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	36	2	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	38		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	38		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	38		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	38		
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	38		
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	37	1	就学ガイダンスや就学学習会、学校見学の同行や引継ぎなどを通じて連携を図っています。今後も少しでも安心して就学移行できるよう努めます。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	37	1	大阪府発達支援拠点障がい児通所支援事業者等育成事業の活用や講師を招いての研修等でアドバイスを受けながら取り組んでまいります。
	㉖	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	38		
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	38		
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	38		

保護者への説明責任等	②⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	37	1	重要事項の説明の他に運営規定等の閲覧用ファイルを作成しています。
	③⑩	児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの児童発達支援計画の同意を得ているか	38		
	③⑪	定期的に、保護者からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	37	1	各種面談の他に、来園時や電話等でもやり取りをさせていただいております。今後もより相談しやすい環境づくりに努めます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	37	1	今後もより良い連携ができるよう努めます。
	③⑬	保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38		
	③⑭	定期的に便り等を発行し、活動概要や予定等の情報を保護者に対して発信しているか	38		
	③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	38		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っているか	38		
非常時等の対応	③⑰	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	38		
	③⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	38		
	③⑲	事前に子どもの既往歴等を状況の確認を行っているか	38		
	④①	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	38		
	④②	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	38		
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	38		
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	38		